

編集部のようこそ

11/1 県労連女性部主催被災地巡り

復興の街づくり コミュニティを優先に

今回の秋の被災地巡りには、栃木医労連や若者のための市民活動から学生4名など合計35名が参加しました。

今回訪れた中で岩沼市の「千年希望の丘」は、津波の力の減衰や避難場所として活用す



閑上さいかい市場で元気な魚屋さんの声に
元気をもらってにこにこの参加者です

るとともに再生可能な震災廃棄物を活用した構造です。丘の高さは一基8〜10mで総数15基、園路10kmの規模で、大津波の痕跡や被災者の思いを後世に伝えるメモリアル公園の整備が進められています。すでに3基ができていて、見晴らしも良いし緑もきれいで日常的な公園としても訪れたい場所でした。

岩沼の集団移転地では、住民と話し合い、コミュニティ優先で集団移転を進め、隣近所の付き合いを残した形で移転する事でうまくいっているとのことでした。あらためて、人との「絆」の大切さを感じた被災地めぐりでした。(編 ナカ)

憲法を守ることは 命を守ることに 菅原文太さんを偲んで

菅原文太さんの突然の訃報は大変ショックである。11月15日開催の、「憲法九条を守り生かす宮城のつどい」で話を聞くことができると楽しみにしていたからなおのことである。つどいでは、小森陽一さんが、10年前は憲法改正賛成が6割以上であったが国民の草の根の運動が世論を変え、反対の声が多くなった。安倍政権の改憲暴走を押し返すために私たちが底力を見せつけよう」と話された。また、「明日は沖縄知事選の

11月22日(土)、23日(日)の2日間、信州大学工学部キャンパスで全国青年交流集会と第26回全大教青年部総会が開催され、16単組29名が参加しました。22日は交流集会で参加者が6つの班に分かれてグループ交流を行いました。組合をテーマにお題が2つ出され、班ごとに意見交換をしながら、長野市の善光寺を散策しました。夜は懇親会があり、うるさいくらい大変盛り上がりしました。23日はグループ交流の報告会と青年部総会が開催され

ました。総会では、各単組からイベントの紹介(サマーフェスティバル、地引網、オリエンテーリング、バスツアー、飲み会、学習会、

全大協全国青年交流集会 in信州大学 広がったつながり

キャンパスが多いと難しい)が挙がりました。今回の集会に参加して組合の話はもとより、同じ職種の話(私は機械系のこと)や、同じ趣味の話(私は同年代とする事ができ、横のつながりが広がってとても有意義でした。井本勇吉さん(金研)



交流グループで善光寺へ